

## 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

### ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	有限会社オペラシアターこんにゃく座
公演団体名	オペラシアターこんにゃく座

内容
<p>本来であれば、本公演に参加していただくことを目的として、劇中歌の練習をワークショップのメインプログラムとしておりますが、コロナ感染予防の観点から、今年度も各学校で授業内の合唱を控えている現状を踏まえ、訪問してのワークショップは行わず、教材をお送りし、演目に親しんでいただくことを代替案とします。</p> <p>劇中歌「テトのパンはあ」の楽譜と音源を渡し、音楽の授業で聞いて（覚えて）いただいたり、校内放送が可能な時間に流していただくなど、曲に親しんでいただきます。</p> <p>また映像DVDを作成配布し、次の紹介を行ないます。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1／劇団紹介をしつつ、劇団名の由来となっている「こんにゃく体操」を行ないます。</li><li>2／「オペラ」とはどのようなものか、“演劇”と“オペラやミュージカル”の違いは何か、実演をまじえて解説します。</li><li>3／『口はロボットの口』の物語を紹介し、本公演を観る前にイメージを膨らませてもらいます。</li></ol> <p>映像資料をご覧いただき、児童生徒が興味を持ったこと、疑問を持ったことなどがあるなら、本公演前に感想や質問（答え）を学校と劇団とのあいだでやりとりできるような対応も図っていきます。</p>

タイムスケジュール（標準）
映像教材は20分でご覧いただけるものをお送りします。授業の中、あるいはホームルームの時間などご活用いただければ幸いです。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
指導者 0 名
スタッフ 0 名
合計 0 名

学校における事前指導
事前にお送りする教材（音源や映像資料）を使い、ワークショップの代替策として、本公演に対するイメージを児童生徒に膨らませてもらうようご指導下さい。

# 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

## 本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	有限会社オペラシアターこんにゃく座
公演団体名	オペラシアターこんにゃく座

<b>演目</b>
オペラシアターこんにゃく座公演 オペラ『口はロボットの口』

<b>派遣者数</b> ※派遣者数の内訳を御入力ください
出演者 9 名
スタッフ 7 名
合計 16 名

<b>タイムスケジュール（標準）</b>									
【午後公演】の場合									
8:00				12:00	13:00	13:15		15:00	16:30
到着	搬入	設営	稽古	昼食	開場	公演	終演 撤去 搬出	退出	
【午前公演】の場合									
7:00	10:15	10:30		12:15	13:15	15:00			
到着 設営	搬入 稽古	開場	公演	昼食	撤去 搬出	退出			
*午前公演の場合は、前日に仕込をさせていただく場合があります。 時間帯は学校と個別にご相談します。 *開場・開演時刻は目安です。各校の授業時間に合わせ調整します。									

<b>実施校への協力依頼人員</b>
1 / <u>ピアノがステージ上にある場合は、ピアノをフロアへ下ろします。</u> <u>男性の先生を中心に5名ほどお手伝い下さい。</u>
2 / 体育館が2階以上の場合、可能であれば搬入搬出の協力を5名ほどお願いできると嬉しいです。

## 演目解説

ウェストランドのパン工場で働くパン製造ロボット‘テト’はパン作りが得意で大好き。ところがある日、作れるパンの数が減ってきてしまいました。テトは体を直してもらうため、自分を作ったドリトル博士の住むイーストランドを目指して旅立ちます。

七日七晩歩き、イーストランドにたどり着いたテトは、そこで‘ココ’という女の子と出会います。ロボットを目の敵にする魔女ノーマが支配するイーストランドで、テトはパンを作ることでココの窮地を救います。

テトのパンは人々を幸せにしていますが、このパンのおいしさの虜になったノーマの娘‘ジーン’の策略によって、テトとココはふたたび窮地に立たされます……。

オペラ『口はロボットの口』は1999年初演。萩京子作曲によるオペラシアターこんにやく座の代表演目の一つです。初演以来、小学校公演や全国各地にある、子ども劇場、おやこ劇場での公演を中心に上演を重ねてきました。2001年に国際交流基金主催によるインドネシア・タイ・インド3カ国ツアー。また2005年に韓国公演を実施。

物語は、歌い手8人が計30以上の役を演じながら、多層な場面構成により展開していきます。魅力的な登場人物たちによって、笑って、泣いて、ドキドキしながら、自分にとって一番大切なものを探す、旅のお話でもあります。困難に出会っても、負けずにまっすぐと前を向く主人公テトの視線に、できたてのパンを食べたときのように心が温かなもので満たされてゆくオペラです。

平成12年東京都優秀児童演劇選定において、東京都教育委員会優秀賞、(社)日本演劇協会賞、(財)都民演劇賞の各賞を受賞。

## 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

- 1 / 事前に教材を送り、親しんで(覚えて)いただいた曲「テトのパンはあ」を、本番中、出演者の歌に合わせて、一緒に楽しんで(声には出さずに歌って)もらいます。

## 児童生徒とのふれあい

- 1 / 学校側の要望に応じ、設営や片付け時の見学が可能です。  
※密となることを避けるため、人数制限や時間制限など、ご相談のうえ進めさせていただきます。